平成 25 年 12 月 11 日
あずま北小学校

稲敷市で感染性胃腸炎が流行っています

本校では，まだ感染されたお子さんはいませんが，稲敷市内で感染性胃腸炎による出席停止の報告が出ております。厚生労働省によると，毎年 11 月ごろから発生件数が増えはじめ，12 月から翌年 1 月が発生のピークになるようです。ウイルスはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染より、感染者のおう吐物、排せつ物からうつる２次感染のケースが多いようです。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、38 度以上の発熱も伴います。
予防としては、感染例が報告されている間は二枚貝は加熱して食べる、また食事の際にはせっけんでよく手を洗う、などです。
ノロウイルスを殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

感染者は症状が回復しても、その後１週間～１か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症から１か月ほどは排せつ物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこませた布などでふくようにしましょう。

かぜ・インフルエンザも，感染性胃腸炎も手洗いで予防！

（参考資料：西多摩保健所「手あらいポスター」より）

★お茶うがいが始まります。ご協力をおねがいします。

かぜやインフルエンザの予防策として「お茶うがい」をするために１２月から３月まで水筒の持参にご協力をお願いします。また，水筒持参にともなって，学校でも事故防止のために指導をしていきますので，ご家庭でも水筒の利用の仕方についてお子さんにお話ください。

児童同士で回し飲みは禁止ですので，ご確認ください。

登下校時における水筒の振り回しなど，危険なことは絶対にしないようにご家庭でもお話ください。

水筒は毎日持ち帰り，よく洗ってください。
衛生管理（毎日洗うこと，翌日まで持ち越したものを飲まない）に十分に注意してください。水筒のお手入れ方法は，各水筒の取扱説明書をご覧ください。

性に関する講演会（第三回学校保健委員会）を実施しました

12月6日（金）の学級公開日の5・6校時，いはらき思春期保健協会・思春期アドバイザー　伊藤　厚子先生・照沼　敏子先生・小沼　洋子先生を講師としてお招きしました。最初に，男女の2次性徴の体の変化やそのしくみ，さらに思春期の心の変化についてクイズを交えながらお話をききました。

講演をきいての感想や感じたこと（一部抜粋）

お話を聞いて，人それぞれ違うし，成長のスピードが違うことに気がついてとても安心しました。

性について体のことや心のことがよくわかっていなかったけど，今日の講演会でわからなかったことを知ることができました。大きくなるにつれて体も心も変わってくることがわかったので，イライラしても自分なりの対処法を考えて成長していきたいと思いました。

今日学んだことをこれから生かし，心や体の変化にも対応できるようになりたいです。自分の気持ちをきちんと話し，相手の気持ちを考え，話し合うことなども忘れずにいきたいです。

思春期のことがよくわかった。今日のことを教えてもらって，こわがらずに成長していき，大きくなっていきたいです。これからもパパみたいに大きくたくましくなっていきたいです。